食道がん

1	DCF
2	F700
3	F800
4	F800+オプジーボ
5	F800+キイトルーダ
6	F800+テビムブラ
7	FP700/70
8	FP800/80
9	FP800/80＋オプジーボ
10	FP800/80+キイトルーダ
11	FP800/80+テビムブラ
12	mFOLFOX6
13	mFOLFOX6(アレルギー)
14	sLV5FU2
15	wPTX100
16	オプジーボ+ヤーボイ
17	放射線併用FP1000/75

化学療法計画書

2026年7月改訂

治療法名	ＤＣＦ
コース数	1 コース目
腫瘍種	食道がん
氏名	♂ 年齢
患者ID	生年月日
部署	主治医 科 Dr

開始予定日

治療内容	Day	1 2 3 4 5 6 7	8・・・・・・	15・・・・・・	22・・・29・・・
	予定日	1/0	1/7	1/14	1/21 1/28
ドセタキセル	70 mg/m2	↓			↓
シスプラチン	70 mg/m2	↓			↓
フルオロウラシル	750 mg/m2	↓ ↓ ↓ ↓ ↓			↓→ (5日間)
パロノセトロン	0.75mg	↓			↓ ↓ ↓ ↓
デキサート	9.9mg	↓			↓
デキサート	6.6mg	↓ ↓ ↓			↓ ↓ ↓
アロカリス	235mg	↓			↓
オランザピン	5mg	↓ ↓ ↓ ↓			
ペグフィルグラスチム	3.6mg		↓(day7)		

治療開始日	2001年8月1日	治療間隔	3週毎	予定コース数	4 コース
身長 150	cm	体重 50	kg	BSA 1.433 m2	
eGFR 60	mL/min	eGFR/BSA 50	mL/min		

投与開始基準

・WBC≧3000　・好中球≧1500
・PLT≧100,000　Hb≧9.0
・AST/ALT≦100, T-Bil≦1.5
（これを満たさないときDOC減量考慮）
・Cr≦1.2　・Ccr≧50
（これを満たさないときCDDP減量考慮）

メイン400mL/hで投与（ドセタキセルは除く）

Day 1

1)生理食塩液 500mL 75分

1) 開始直後に

2)パロノセトロン 0.75mg 30分
デキサート 9.9mg
アロカリス 235mg

3)5%ブドウ糖 250mL 60分
ドセタキセル 100mg

4)生理食塩液　総量400mL 60分
シスプラチン 100mg

4)終了直後に側注

5)ラシックス 1A

6)トリフリード 500mL 24ｈ
フルオロウラシル 1070mg

7)生理食塩液　1000mL
KCL 1キット 150分
硫酸マグネシウム 1A

Day 2-4

1)生理食塩液 50mL 全開
デキサート 6.6mg

↓

2)トリフリード 500mL 24ｈ
フルオロウラシル 1070mg

翌日まで

＊投与開始時まず5mL早送りし，10 分間は50mL/hとして
ベッドサイドで厳重にアレルギー症状を観察
問題なければ250mL/hへ

Day 5

1)トリフリード 500mL 24ｈ
フルオロウラシル 1070mg

Day6

1)生理食塩液　50mL フラッシュ

注意　糖尿病の患者はオランザピン禁忌

*1kg以上増えたとき医師に報告。利尿剤の相談
（毎日1日1回体重測定）
＊オランザピン5mgはday1 の夕から

次コース以降の投与開始基準

・WBC≧3,000　・Neu≧1500
・Plt>100,000
・AST/ALT≦100, Cr≦1.2
・PS 0-2・神経障害,浮腫G1以下
・その他の非血液毒性　G2以下

減量基準

・G4の血液毒性 、発熱性好中球減少
・G2神経毒性
→CDDP60mg/m2に　DOC45mg/m2に
・G3以上の下痢・口内炎・食欲不振
→CDDP60mg/m2に フルオロウラシル800mg/m2に
・ Cr≧1.5
→CDDP60mg/m2に

化学療法計画書

2026年10月作成

治療法名	フルオロウラシル(700)				
コース数	1	コース目			
腫瘍種	食道がん				
患者名			♂	年齢	
患者ID		生年月日			
部署		主治医	科	Dr	

開始予定日

治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	8・・・・・・	15・・・・	22・・・	29・・・・・・
	予定日	1/0						1/7		1/14	1/21	1/28
フルオロウラシル	700 mg/m2	↓	↓	↓	↓							↓ ↓ ↓ ↓
デキサート	6.6mg	↓	↓	↓	↓							↓ ↓ ↓ ↓

治療開始日			治療間隔		4週間毎	予定コース数		
身長	150	cm	体重	50	kg	BSA	1.433 m2	
eGFR	60	mL/min	eGFR/BSA	50	mL/min			

Day 1

投与開始基準
- WBC>3,000,好中球>1,500
- Plt>100,000
- AST/ALT<2xULN

減量基準
- WBC<1,000,Plt<25,000
- 発熱性好中球減少
  →フルオロウラシル 600に減量

1)生理食塩液 50mL
　デキサート 6.6mg　30分

↓

2)トリフリード 500mL
　フルオロウラシル 1000mg　24ｈ

↓

Day 2-4

1)生理食塩液 50mL　全開
　デキサート 6.6mg

↓

2)トリフリード 500mL　24ｈ
　フルオロウラシル 1000mg

↓

Day5

1)生理食塩液　50mL　フラッシュ

化学療法計画書

2025年4月改訂

治療法名	フルオロウラシル(800)				
コース数	1	コース目			
腫瘍種	食道がん				
患者名		♂	年齢		
患者ID		生年月日			
部署		主治医	科	Dr	

開始予定日

治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	8・・・・・・	15・・・・	22・・・	29・・・・・・
	予定日	1/0							1/7	1/14	1/21	1/28
フルオロウラシル 800 mg/m2		↓	↓	↓	↓	↓						↓ ↓ ↓ ↓ ↓
デキサート 6.6mg		↓	↓	↓	↓							↓ ↓ ↓ ↓

治療開始日		治療間隔	4週間毎	予定コース数		コース
身長	150 cm	体重	50 kg	BSA	1.433 m2	
eGFR	60 mL/min	eGFR/BSA	50 mL/min			

Day 1

投与開始基準
- WBC>3,000,好中球>1,500
- Plt>100,000
- AST/ALT<2xULN

減量基準
- WBC<1,000,Plt<25,000
- 発熱性好中球減少

→フルオロウラシル 600に減量

1) 生理食塩液 50mL
デキサート 6.6mg 30分

↓

2) トリフリード 500mL
フルオロウラシル 1140mg 24ｈ

↓

Day 2-4

1) 生理食塩液 50mL 全開
デキサート 6.6mg

↓

2) トリフリード 500mL 24ｈ
フルオロウラシル 1140mg

↓

翌日まで

↓

Day 5

1) トリフリード 500mL 24ｈ
フルオロウラシル 1140mg

↓

Day6

1) 生理食塩液 50mL フラッシュ

化学療法計画書

2025年4月改訂

治療法名	フルオロウラシル(800) /オプジーボ			
コース数	1	コース目		
腫瘍種	食道がん			
患者名		♂	年齢	
患者ID		生年月日		
部署		主治医	科	Dr

開始予定日

治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	8・・・・・・	15・・・・・	22・・・	29・・・ ・・・
	予定日	1/0						1/7		1/14	1/21	1/28
オプジーボ 240 mg		↓								↓		↓
フルオロウラシル 800 mg/m2		↓	↓	↓	↓	↓						↓ ↓ ↓ ↓ ↓
デキサート 6.6mg		↓	↓	↓	↓							↓ ↓ ↓ ↓

治療開始日			治療間隔		4週間毎	予定コース数		
身長	150	cm	体重	50 kg	BSA	1.433 m2		コース
eGFR	60	mL/min	eGFR/BSA	50	mL/min			

Day 1

投与開始基準
- WBC>3,000, 好中球>1,500
- Plt>100,000
- AST/ALT<2xULN

減量基準
- WBC<1,000, Plt<25,000
- 発熱性好中球減少
  → フルオロウラシル 600に減量

インラインフィルターを使用

1) 生理食塩液 50mL 血管確保
↓
2) 生理食塩液 50mL
   オプジーボ 240mg 30分
↓
3) 生理食塩液 50mL フラッシュ
↓
4) 生理食塩液 50mL
   デキサート 6.6mg 30分
↓
5) トリフリード 500mL
   フルオロウラシル 1140mg 24ｈ
↓

Day 2-4

1) 生理食塩液 50mL 全開
   デキサート 6.6mg
↓
2) トリフリード 500mL 24ｈ
   フルオロウラシル 1140mg

Day 5

1) トリフリード 500mL 24ｈ
   フルオロウラシル 1140mg

Day 6

1) 生理食塩液 50mL フラッシュ

Day 15

インラインフィルターを使用

1) 生理食塩液 50mL 血管確保
↓
2) 生理食塩液 50mL
   オプジーボ 240mg 30分
↓
3) 生理食塩液 50mL フラッシュ

化学療法計画書

2025年8月作成

治療法名	フルオロウラシル(800) /キイトルーダ			
コース数	1	コース目		
腫瘍種	食道がん			
患者名		♂	年齢	
患者ID		生年月日		
部署		主治医	科	Dr

開始予定日

治療内容		Day	1 2 3 4 5 6 7	8・・・・・・	15・・・・・・・	22・・・ ・・・
		予定日	1/0	1/7	1/14	1/21
キイトルーダ	200 mg		↓			↓
フルオロウラシル	800 mg/m2		↓ ↓ ↓ ↓ ↓			↓ ↓ ↓ ↓ ↓
デキサート	6.6mg		↓ ↓ ↓ ↓			↓ ↓ ↓ ↓

治療開始日				治療間隔		3週間毎	予定コース数	コース
身長	150	cm	体重	50	kg	BSA	1.433 m2	
eGFR	60	mL/min	eGFR/BSA		50	mL/min		

Day 1

投与開始基準
- WBC>3,000,好中球>1,500
- Plt>100,000
- AST/ALT<2xULN

減量基準
- WBC<1,000,Plt<25,000
- 発熱性好中球減少

→ フルオロウラシル600に減量

インラインフィルターを使用

1)生理食塩液	50mL	血管確保
↓		
2)生理食塩液	50mL	
キイトルーダ	200mg	30分
↓		
3)生理食塩液	50mL	フラッシュ
↓		
4)生理食塩液	50mL	
デキサート	6.6mg	30分
↓		
5)トリフリード	500mL	
フルオロウラシル	1140mg	24ｈ

Day 2-4

1)生理食塩液	50mL	全開
デキサート	6.6mg	
↓		
2)トリフリード	500mL	24ｈ
フルオロウラシル	1140mg	

Day 5

1)トリフリード	500mL	24ｈ
フルオロウラシル	1140mg	

Day6

1)生理食塩液	50mL	フラッシュ

化学療法計画書

2025年12月作成

治療法名	フルオロウラシル(800) /テビムブラ				
コース数	1	コース目			
腫瘍種	食道がん				
患者名		♂	年齢		
患者ID		生年月日			
部署		主治医	科	Dr	

開始予定日

治療内容		Day	1 2 3 4 5 6 7	8・・・・・・	15・・・・・・・	22・・・・・・
		予定日	1/0	1/7	1/14	1/21
テビムブラ	200 mg		↓			↓
フルオロウラシル	800 mg/m2		↓ ↓ ↓ ↓ ↓			↓ ↓ ↓ ↓ ↓
デキサート	6.6mg		↓ ↓ ↓ ↓			↓ ↓ ↓ ↓

治療開始日				治療間隔		3週間毎	予定コース数	コース
身長	150	cm	体重	50	kg	BSA	1.433 m2	
eGFR	60	mL/min	eGFR/BSA		50	mL/min		

Day 1

投与開始基準
- WBC>3,000, 好中球>1,500
- Plt>100,000
- AST/ALT<2xULN

減量基準
- WBC<1,000, Plt<25,000
- 発熱性好中球減少

→ フルオロウラシル600に減量

インラインフィルターを使用

1) 生理食塩液	50mL	10分
↓		
2) 生理食塩液	50mL	
テビムブラ	200mg	60分
↓ 忍容性あれば2コース目から30分で		
3) 生理食塩液	50mL	10分
↓		
4) 生理食塩液	50mL	
デキサート	6.6mg	30分
↓		
5) トリフリード	500mL	
フルオロウラシル	1140mg	24ｈ

Day 2-4

1) 生理食塩液	50mL	全開
デキサート	6.6mg	
↓		
2) トリフリード	500mL	
フルオロウラシル	1140mg	24ｈ

Day 5

1) トリフリード	500mL	24ｈ
フルオロウラシル	1140mg	

Day6

1) 生理食塩液	50mL	全開

化学療法計画書

2025年4月改訂

治療法名	FP 700/70				
コース数	1	コース目			
腫瘍種	食道がん				
患者名		♂	年齢		
患者ID		生年月日			
部署		主治医	科	Dr	

開始予定日

治療内容	Day	1 2 3 4 5 6 7	8・・・・・・15・・・・・22・・・	29・・・・・・
	予定日	1/0	1/7 1/14 1/21	1/28
フルオロウラシル	700 mg/m2	↓ ↓ ↓ ↓		↓ ↓ ↓ ↓
シスプラチン	70 mg/m2	↓		↓
パロノセトロン	0.75mg	↓		↓
デキサート	9.9mg	↓		↓
デキサート	6.6mg	↓ ↓ ↓		↓ ↓ ↓
アロカリス	235mg	↓		↓
オランザピン	5mg	↓ ↓ ↓ ↓		↓ ↓ ↓ ↓

治療開始日			治療間隔		4週間毎	予定コース数		コース
身長	150	cm	体重	50 kg	BSA	1.433 m2		
eGFR	60	mL/min	eGFR/BSA	50	mL/min			

Day 1

投与開始基準
- WBC>3,000, 好中球>1,500
- Plt>100,000
- AST/ALT<2xULN
- Cr<1.2 (CCｒ60未満ではCDDP減量考慮)

メイン400mL/hで投与

1) 生理食塩液 500mL 75分

1) 開始直後に

← 2) パロノセトロン 0.75mg 30分
デキサート 9.9mg
アロカリス 235mg

3) 生理食塩液 総量400mL 60分
シスプラチン 100mg

3) 終了直後側注

← 4) ラシックス 1A

5) トリフリード 500mL
フルオロウラシル 1000mg 24ｈ

← 6) 生理食塩液 1000mL
KCL 1ｷｯﾄ
硫酸マグネシウム 1A 150分

Day 2-4

1) 生理食塩液 50mL 全開
デキサート 6.6mg

↓

2) トリフリード 500mL 24ｈ
フルオロウラシル 1000mg

Day5

1) 生理食塩液 50mL フラッシュ

減量基準
- WBC<1,000, Plt<25,000
- 発熱性好中球減少
  →CDDP 60, フルオロウラシル 600に減量
- Cr>1.5
  →CDDP 60に減量

注意　糖尿病の患者はオランザピン禁忌

*1kg以上増えたとき医師に報告。利尿剤の相談
（毎日1日1回体重測定）
＊オランザピン5mgはday1 の夕から

化学療法計画書

2025年4月改訂

治療法名	FP 800/80				
コース数	1	コース目			
腫瘍種	食道がん				
患者名			♂	年齢	
患者ID		生年月日			
部署		主治医	科	Dr	

開始予定日

治療内容		Day	1 2 3 4 5 6 7	8・・・・・・15・・・・22・・・	29・・・・・・
		予定日	1/0	1/7 1/14 1/21	1/28
フルオロウラシル	800 mg/m2		↓ ↓ ↓ ↓ ↓		↓ ↓ ↓ ↓ ↓
シスプラチン	80 mg/m2		↓		↓
パロノセトロン	0.75mg		↓		↓
デキサート	9.9mg		↓		↓
デキサート	6.6mg		↓ ↓ ↓		↓ ↓ ↓
アロカリス	235mg		↓		↓
オランザピン	5mg		↓ ↓ ↓ ↓		↓ ↓ ↓ ↓

治療開始日			治療間隔		4週間毎	予定コース数		コース
身長	150	cm	体重	50 kg	BSA	1.433 m2		
eGFR	60	mL/min	eGFR/BSA	50	mL/min			

Day 1

投与開始基準
- WBC>3,000, 好中球>1,500
- Plt>100,000
- AST/ALT<2xULN
- Cr<1.2 （CC r 60未満ではCDDP減量考慮）

メイン400mL/hで投与

1) 生理食塩液 500mL 75分

1) 開始直後に

← 2) パロノセトロン 0.75mg 30分
デキサート 9.9mg
アロカリス 235mg

3) 生理食塩液 総量400mL 60分
シスプラチン 114mg

3) 終了直後側注

← 4) ラシックス 1A

5) トリフリード 500mL
フルオロウラシル 1140mg 24ｈ

← 6) 生理食塩液 1000mL
KCL 1 Ⅰｷｯﾄ
硫酸マグネシウム 1A 150分

Day 2-4

1) 生理食塩液 50mL 全開
デキサート 6.6mg

↓

2) トリフリード 500mL 24ｈ
フルオロウラシル 1140mg

翌日まで

Day 5

1) トリフリード 500mL 24ｈ
フルオロウラシル 1140mg

Day6

1) 生理食塩液 50mL フラッシュ

減量基準
- WBC<1,000, Plt<25,000
- 発熱性好中球減少
  →CDDP 60, フルオロウラシルに減量
- Cr>1.5
  →CDDP 60に減量

注意　糖尿病の患者はオランザピン禁忌

*1kg以上増えたとき医師に報告。利尿剤の相談
（毎日1日1回体重測定）
＊オランザピン5mgはday1 の夕から

化学療法計画書

2025年4月改訂

治療法名	FP 800/80＋オプジーボ				
コース数	1	コース目			
腫瘍種	食道がん				
患者名		♂	年齢		
患者ID		生年月日			
部署		主治医	科	Dr	

開始予定日

治療内容		Day	1 2 3 4 5 6 7	8・・・・・・	15・・・・・・・	22・・・・・	29・・
		予定日	1/0	1/7	1/14	1/21	1/28
オプジーボ	240 mg		↓		↓		↓
フルオロウラシル	800 mg/m2		↓ ↓ ↓ ↓ ↓				↓ ↓ ↓ ↓
シスプラチン	80 mg/m2		↓				↓
パロノセトロン	0.75mg		↓				↓
デキサート	9.9mg		↓				↓
デキサート	6.6mg		↓ ↓ ↓				↓ ↓ ↓
アロカリス	235mg		↓				↓
オランザピン	5mg		↓ ↓ ↓ ↓				↓ ↓ ↓ ↓

治療開始日			治療間隔		4週間毎	予定コース数		コース
身長	150	cm	体重	50 kg	BSA	1.433 m2		
eGFR	60	mL/min	eGFR/BSA	50	mL/min			

Day 1

投与開始基準

・WBC>3,000,好中球>1,500
・Plt>100,000
・AST/ALT<2xULN
・Cr<1.2（CCｒ60未満ではCDDP減量考慮）

インラインフィルターを使用

1) 生理食塩液 50mL 血管確保
↓
2) 生理食塩液 50mL
オプジーボ 240mg 30分
↓
3) 生理食塩液 50mL フラッシュ
↓
メイン400mL/hで投与
4) 生理食塩液 500mL 75分

4) 開始直後に
←5) パロノセトロン 0.75mg
デキサート 9.9mg 30分
アロカリス 235mg

6) 生理食塩液 総量400mL 60分
シスプラチン 114mg

6) 終了直後に側注
←7) ラシックス 1A

8) トリフリード 500mL
フルオロウラシル 1140mg 24ｈ

←9) 生理食塩液 1000mL
KCL 1ｷｯﾄ
硫酸マグネシウム 1A 150分

Day 2-4

1) 生理食塩液 50mL 全開
デキサート 6.6mg
↓
2) トリフリード 500mL 24ｈ
フルオロウラシル 1140mg
↓
翌日まで

Day 5

1) トリフリード 500mL 24ｈ
フルオロウラシル 1140mg

Day6

1) 生理食塩液 50mL フラッシュ

day15

インラインフィルターを使用

1) 生理食塩液 50mL 血管確保
↓
2) 生理食塩液 50mL
オプジーボ 240mg 30分
↓
3) 生理食塩液 50mL フラッシュ

減量基準

・WBC<1,000,Plt<25,000
・発熱性好中球減少
→CDDP 60, フルオロウラシル600に減量
・Cr>1.5
→CDDP 60に減量

注意　糖尿病の患者はオランザピン禁忌

*1kg以上増えたとき医師に報告。利尿剤の相談
（毎日1日1回体重測定）
＊オランザピン5mgはday1 の夕から

化学療法計画書

2025年4月改訂

治療法名	FP 800/80＋キイトルーダ				
コース数	1	コース目			
腫瘍種	食道がん				
患者名		♂	年齢		
患者ID		生年月日			
部署		主治医	科	Dr	

開始予定日

治療内容		Day	1 2 3 4 5 6 7	8・・・・・・	15・・・・・・・	22・・・・・・・
		予定日	1/0	1/7	1/14	1/21
キイトルーダ	200 mg		↓			↓
フルオロウラシル	800 mg/m2		↓ ↓ ↓ ↓ ↓			↓ ↓ ↓ ↓ ↓
シスプラチン	80 mg/m2		↓			↓
パロノセトロン	0.75mg		↓			↓
デキサート	9.9mg		↓			↓
デキサート	6.6mg		↓ ↓ ↓			↓ ↓ ↓
アロカリス	235mg		↓			↓
オランザピン	5mg		↓ ↓ ↓ ↓			↓ ↓ ↓ ↓

治療開始日			治療間隔		3週間毎	予定コース数	コース
身長	150	cm	体重	50 kg	BSA	1.433 m2	
eGFR	60	mL/min	eGFR/BSA	50	mL/min		

Day 1

投与開始基準

- WBC>3,000, 好中球>1,500
- Plt>100,000
- AST/ALT<2xULN
- Cr<1.2 （CCｒ60未満ではCDDP減量考慮）

インラインフィルターを使用

1) 生理食塩液 50mL 血管確保

↓

2) 生理食塩液 50mL
キイトルーダ 200mg 30分

↓

3) 生理食塩液 50mL フラッシュ

↓

メイン400mL/hで投与

4) 生理食塩液 500mL 75分

4) 開始直後に

← 5) パロノセトロン 0.75mg
デキサート 9.9mg
アロカリス 235mg 30分

6) 生理食塩液 総量400mL 60分
シスプラチン 114mg

6) 終了直後に側注

← 7) ラシックス 1A

8) トリフリード 500mL
フルオロウラシル 1140mg 24ｈ

← 9) 生理食塩液 1000mL
KCL 1ｷｯﾄ
硫酸マグネシウム 1A 150分

Day 2-4

1) 生理食塩液 50mL 全開
デキサート 6.6mg

↓

2) トリフリード 500mL
フルオロウラシル 1140mg 24ｈ

↓

翌日まで

Day 5

1) トリフリード 500mL
フルオロウラシル 1140mg 24ｈ

↓

Day6

1) 生理食塩液 50mL フラッシュ

減量基準

- WBC<1,000, Plt<25,000
- 発熱性好中球減少
  →CDDP 60, フルオロウラシル600に減量
- Cr>1.5
  →CDDP 60に減量

注意　糖尿病の患者はオランザピン禁忌

*1kg以上増えたとき医師に報告。利尿剤の相談
（毎日1日1回体重測定）
＊オランザピン5mgはday1 の夕から

化学療法計画書

2025年12月作成

治療法名	FP 800/80＋テビムブラ		
コース数		コース目	
腫瘍種	食道がん		
氏名		♂	年齢
患者ID		生年月日	
部署		主治医	科 Dr

開始予定日

治療内容		Day	1 2 3 4 5 6 7	8・・・・・・	15・・・・・・・	22・・・・・・
		予定日	1/0	1/7	1/14	1/21
テビムブラ	200 mg		↓			↓
フルオロウラシル	800 mg/m2		↓ ↓ ↓ ↓ ↓			↓ ↓ ↓ ↓ ↓
シスプラチン	80 mg/m2		↓			↓
パロノセトロン	0.75mg		↓			↓
デキサート	9.9mg		↓			↓
デキサート	6.6mg		↓ ↓ ↓			↓ ↓ ↓
アロカリス	235mg		↓			↓
オランザピン	5mg		↓ ↓ ↓ ↓			↓ ↓ ↓ ↓

治療開始日			治療間隔		3週間毎	予定コース数	コース
身長	150	cm	体重	50 kg	BSA	1.433 m2	
eGFR	60	mL/min	eGFR/BSA	50	mL/min		

Day 1

投与開始基準

- WBC≧3,000、好中球≧1,500
- Plt≧100,000　・Hb≧9g/dL
- AST/ALT≦3xULN(肝転移あり≦5xULN)
- T-Bil≦1.5xULN
- Cr≦1.5（CCr60未満ではCDDP減量考慮）

インラインフィルターを使用

1) 生理食塩液 50mL 10分

↓

2) 生理食塩液 50mL
テビムブラ 200mg 60分

↓ 忍容性あれば2コース目から30分で

3) 生理食塩液 50mL 10分

↓

メイン400mL/hで投与

4) 生理食塩液 500mL 75分

4)開始直後に

← 5) パロノセトロン 0.75mg
デキサート 9.9mg
アロカリス 235mg 30分

6) 生理食塩液　総量400mL
シスプラチン 115mg 60分

6)終了直後に側注

← 7) ラシックス 1A

8) トリフリード 500mL
フルオロウラシル 1140mg 24h

← 9) 生理食塩液 1000mL
KCL 1ｷｯﾄ
硫酸マグネシウム 1A 150分

Day 2-4

1) 生理食塩液 50mL
デキサート 6.6mg 全開

↓

2) トリフリード 500mL
フルオロウラシル 1140mg 24h

↓

翌日まで

Day 5

1) トリフリード 500mL
フルオロウラシル 1140mg 24h

Day 6

1) 生理食塩液　50mL 全開

減量基準

- WBC<1,000、Plt<25,000
- 発熱性好中球減少
  →CDDP60、フルオロウラシル600に減量
- Cr>1.5
  →CDDP60に減量

注意　糖尿病の患者はオランザピン禁忌

*1kg以上増えたとき医師に報告。利尿剤の相談
（毎日1日1回体重測定）
*オランザピン5mgはday1の夕から

化学療法計画書

2026年9月改訂

治療法名	mFOLFOX6		
コース数		コース目	

腫瘍種	食道がん				
患者氏名			♂	年齢	
患者ID		生年月日			
部署		主治医	科	医師名	

開始予定日

治療内容	Day	1・・・・・・・	8・・・・・・・・	15・・・・・・・・・
	予定日	1/0		1/14
レボホリナート	200 mg/m2	↓		
フルオロウラシル	400 mg/m2	↓		
フルオロウラシル	2400 mg/m2	↓		
オキサリプラチン	85 mg/m2	↓		
デキサート	6.6mg	↓		
パロノセトロン	0.75mg	↓		
デカドロン	8mg	↓↓↓		

治療開始日	年	月	日	治療間隔	2週毎	予定コース		コース

身長	150 cm	体重	50 kg	BSA	1.433	m2

eGFR	60 mL/min	eGFR/BSA	50 mL/min

Day1-2

1) デキサート	6.6mg		
パロノセトロン	0.75mg	30分	
↓			
2) 5%ブドウ糖	250mL	＝＝	2) 5%ブドウ糖 500mL
オキサリプラチン	120mg	2h	レボホリナート 275mg 2h
↓			
3) 生理食塩液	50mL	オキサリプラチンとレボホリナート 終了後につなぐ	
フルオロウラシル	570mg	15分	
↓			
4) 生理食塩液	140mL		
フルオロウラシル	3400mg	46h持続（トレフューザー使用）	

（同時に側管から）

デカドロンはday2の朝から

投与開始基準

1. 好中球1500以上
2. 血小板7.5万以上
3. AST/ALT＜2.5×ULN
4. T-Bil＜1.5×ULN
5. Cr；1.2未満

減量基準

1. 好中球　500未満
2. 血小板5万未満
   フルオロウラシルを20%減量
   オキサリプラチン65mg/m2に減量

化学療法計画書

2026年9月改訂

治療法名	mFOLFOX6（アレルギー）		
コース数		コース目	

腫瘍種	食道がん			
患者氏名		♂	年齢	
患者ID		生年月日		
部署		主治医	科	医師名

開始予定日

治療内容	Day	1・・・・・・・	8・・・・・・・・	15・・・・・・・・・
	予定日	1/0		1/14
レボホリナート	200 mg/m2	↓		
フルオロウラシル	400 mg/m2	↓		
フルオロウラシル	2400 mg/m2	↓		
オキサリプラチン	85 mg/m2	↓		
デキサート	6.6mg	↓		
パロノセトロン	0.75mg	↓		
デカドロン	8mg	↓↓↓		
レスタミン	5錠	↓		
ファモチジン	1A	↓		

治療開始日	年	月	日	治療	間隔	2週毎	予定コース	コース

身長	150 cm	体重	50 kg	BSA	1.433	m2
eGFR	60 mL/min	eGFR/BSA	50 mL/min			

Day1-2

1）デキサート 6.6mg
パロノセトロン 0.75mg
ファモチジン 1A
30分
1 ） 開始と同時にレスタミン内服

↓

↓

（ 同時に側管から）

2）5%ブドウ糖 250mL
オキサリプラチン 120mg
2h

2）5%ブドウ糖 500mL
レボホリナート 275mg
2h

↓

3）生理食塩液 50mL
フルオロウラシル 570mg
15分
オキサリプラチンとレボホリナート 終了後につなぐ

↓

4）生理食塩液 140mL
フルオロウラシル 3400mg
46h持続（トレフューザー使用）

＊デカドロン錠はday2の朝から内服

投与開始基準

1. 好中球1500以上
2. 血小板7.5万以上
3. AST/ALT＜2.5×ULN
4. T-Bil＜1.5×ULN
5. Cr;1.2未満

減量基準

1. 好中球　500未満
2. 血小板5万未満
   フルオロウラシルを20%減量
   オキサリプラチン65mg/m2に減量

化学療法計画書

2026年9月改訂

治療法名	sLV5FU2		
コース数		コース目	
腫瘍種	食道がん		
患者氏名		♂	年齢
患者ID		生年月日	
部署		主治医	科 医師名

開始予定日

治療内容	Day	1・・・・・・・	8・・・・・・・・	15・・・・・・・・・
	予定日	1/0		1/14
レボホリナート	200 mg/m2	↓		
フルオロウラシル	400 mg/m2	↓		
フルオロウラシル	2400 mg/m2	↓		
グラニセトロン	1mg	↓		

治療開始日	年 月 日	治療 間隔	2週毎	予定コース	コース
身長	150 cm	体重	50 kg	BSA	1.433 m2
eGFR	60 mL/min	eGFR/BSA	50 mL/min		

Day1-2

1)グラニセトロン	1mg	30分
↓		
2)5%ブドウ糖	500mL	
レボホリナート	275mg	2h
↓		
3)生理食塩液	50mL	
フルオロウラシル	570mg	15分
↓		
4)生理食塩液	140mL	
フルオロウラシル	3400mg	46h持続(トレフューザー使用)

投与開始基準
1. 好中球1500以上
2. 血小板10万以上
3. 肝・腎機能値２倍以下
4. 心・肺機能異常なし
減量基準
1. 好中球　500未満
2. 血小板5万未満
フルオロウラシルを20%減量する

化学療法計画書

2024年6月改訂

治療法名	ﾊﾟｸﾘﾀｷｾﾙ100mg/m2毎週
コース数	コース目

腫瘍種	食道がん			
患者名		♂	年齢	
患者ID		生年月日		
部署		主治医	科	Dr

開始予定日

治療内容		Day	1	8	15	22	29	36	43	50
		予定日	1/0	1/7	1/14	1/21	1/28	2/4		
パクリタキセル	100	mg/m2	↓	↓	↓	↓	↓	↓		
デキサート	6.6	mg	↓	↓	↓	↓	↓	↓		
ファモチジン	1	A	↓	↓	↓	↓	↓	↓		
ポララミン	1	A	↓	↓	↓	↓	↓	↓		

治療開始日				治療間隔		8週毎	予定コース数		PDまで
身長	150	cm	体重	50	kg	BSA	1.433	m2	
eGFR	60	mL/min	eGFR/BSA		50	mL/min			

投与開始基準(day1)

- WBC>3,000かつNeu>1,500
- Plt>75,000
- 神経毒性G2以下
- 他のG2以上の非血液毒性なし
- PS 0-2

減量基準

- G4の好中球減少
- FN
- Plt<20000
- G3の非血液毒性
- G2以上の神経毒性、関節痛　筋肉痛

⇒80mg/㎡⇒60mg/㎡

投与可否の基準(day8, 15, 22, 29, 36)

- WBC>2,000かつNeu>1,000
- Plt>50,000
- 神経毒性G1以下
- 他のG2以上の非血液毒性なし

Day 1・8・15・22・29・36

インラインフィルターを使用

1)生理食塩液	50mL	15分
ファモチジン	1A	
デキサート	6.6mg	1)投与開始時に
←		2)ポララミン１A 静注
↓		
3)生理食塩液	100mL	30分
↓		
4)5%ブドウ糖	250mL	アレルギーに注意
パクリタキセル	140mg	60分
↓		
5)生理食塩液	50mL	フラッシュ

化学療法計画書

治療法名	オプジーボ/ヤーボイ				
コース数		コース目			
腫瘍種	非小細胞肺がん　食道がん				
患者名		♂	年齢		
患者ID		生年月日			
部署		主治医	科	Dr	

開始予定日

治療内容	Day	1・・・・・・	22・・・・・・・	43
	予定日	1/0	1/21	2/12
オプジーボ　360 mg/ body		↓	↓	↓
ヤーボイ　1 mg/kg		↓		↓

治療開始日		治療間隔	6週毎	予定コース数	
身長	150 cm	体重	50 kg	BSA	1.433 m2
eGFR	60 mL/min	eGFR/BSA	50 mL/min		

day1

インラインフィルターを使用

1) 生理食塩液　50mL　血管確保
↓
2) 生理食塩液　50mL
　オプジーボ　360mg　30分
↓
3) 生理食塩液　50mL　30分
↓　（観察）
↓　（ヤーボイ5mg/mL）
4) 生理食塩液　50mL
　ヤーボイ　50mg　30分
↓　ヤーボイの液量分+10mLを生食から
↓　抜き、ヤーボイ分を生食に追加
↓　総液量は40mL
5) 生理食塩液　50mL　フラッシュ

ヤーボイ
BW: 40kg未満の場合
総液量を30mLとする

day22

インラインフィルターを使用

1) 生理食塩液　50mL　血管確保
↓
2) 生理食塩液　50mL
　オプジーボ　360mg　30分
↓
3) 生理食塩液　50mL　フラッシュ

インフュージョンリアクションに注意
(軽度 ～中等度)
　悪寒、発熱、めまいなど→医師に報告・相談
(重篤)呼吸困難、蕁麻疹、低血圧、意識消失など
ショック様症状出現時、直ちに中止し医師に報告

化学療法計画書

2025年4月改訂

治療法名	放射線併用 FP1000/75		
コース数	1	コース目	
腫瘍種	食道がん		
患者名		♂	年齢
患者ID		生年月日	
部署		主治医	科 Dr

開始予定日

治療内容		Day	1 2 3 4 5 6 7	8・・・・・・	15・・・・	22・・・	29・・・ ・・・
		予定日	1/0	1/7	1/14	1/21	1/28
フルオロウラシル	1000 mg/m2		↓ ↓ ↓ ↓ ↓				↓ ↓ ↓ ↓ ↓
シスプラチン	75 mg/m2		↓				↓
パロノセトロン	0.75mg		↓				↓
デキサート	9.9mg		↓				↓
デキサート	6.6mg		↓ ↓ ↓				↓ ↓ ↓
アロカリス	235mg		↓				↓
オランザピン	5mg		↓ ↓ ↓ ↓				↓ ↓ ↓ ↓

治療開始日				治療間隔		4週間毎	予定コース数		コース
身長	150	cm	体重	50	kg	BSA	1.433	m2	
eGFR	60	mL/min	eGFR/BSA		50	mL/min			

Day 1

投与開始基準
- WBC>3,000, 好中球>1,500
- Plt>100,000
- AST/ALT<2xULN
- Cr<1.2 （CC r 60未満ではCDDP減量考慮）

メイン400mL/hで投与

1) 生理食塩液 500mL 75分

1) 開始直後に
← 2) パロノセトロン 0.75mg
デキサート 9.9mg
アロカリス 235mg 30分

3) 生理食塩液 総量400mL 60分
シスプラチン 107mg

3) 終了直後側注
← 4) ラシックス 1A

5) トリフリード 500mL
フルオロウラシル 1430mg 24ｈ

← 6) 生理食塩液 1000mL
KCL 1ｷｯﾄ
硫酸マグネシウム 1A 150分

Day 2-4

1) 生理食塩液 50mL 全開
デキサート 6.6mg
↓
2) トリフリード 500mL 24ｈ
フルオロウラシル 1430mg

翌日まで

Day 5

1) トリフリード 500mL 24ｈ
フルオロウラシル 1430mg

Day6

1) 生理食塩液 50mL フラッシュ

減量基準
- WBC<1,000, Plt<25,000
- 発熱性好中球減少
  →CDDP 60, フルオロウラシル800に減量
- Cr>1.5
  →CDDP 60に減量

注意　糖尿病の患者はオランザピン禁忌

*1kg以上増えたとき医師に報告。利尿剤の相談
（毎日1日1回体重測定）
＊オランザピン5mgはday1 の夕から